

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年11月26日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	純水補給水系1・2号機サービス建屋冷凍機膨張水槽補給水弁において、シート部に漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	11月21日
2	2号機	原子炉建屋(非管理区域)非常用ディーゼル発電設備スチームドレン系サンプ(A)及び(B)において、トリチウムの検出が認められたため、原因調査・対策検討。なお、応急処置として、サンプ(A)及び(B)の立ち入り規制を実施。トリチウムを含んだ水の外部への放出はない。	GⅢ	11月22日
3	3号機	非常用ディーゼル発電設備(B)において、「発電機界磁地絡」警報発生が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、非常用ディーゼル発電設備(B)は点検中で停止している。	GⅢ	11月24日
4	4号機	非常用ディーゼル発電設備燃料油系燃料移送ポンプ(A)排油放出弁において、弁ハンドルのねじ山の潰れが認められたため、当該弁のハンドルを交換。	GⅢ	11月23日